

今村宮本殿



| | |
|--------|---|
| 指定区分 | 県指定重要文化財(建造物) |
| 読みかた | いまむらぐうほんでん |
| 所在地 | 岡山市北区今村 |
| 指定年月日 | 昭和30年3月18日 |
| 解説 | 今村宮は、宇喜多直家が岡山城拡張に際して、城内内山下の桜の馬場にあった三社明神を現位置に移転し、地元の鎮守八幡宮を合祀した神社。本殿は元和9年(1623)の再建で、桁行三間、梁間二間、檜皮葺。平面構成は、三間社流造、正面に唐破風造の向拝をつける。内部は、二本の中柱によって外・内陣に分かれ、奥に神座を設けている。神座の板戸や円柱の上部、虹梁・長押等には、極彩色の装飾が施され、桃山の荘重華麗な建築様式を示している。 |
| アクセス方法 | 岡電バス「今村宮前」バス停から徒歩3分 |
| 公開状況 | 外観のみ |
| 設備 | <div style="display: flex; align-items: center; gap: 20px;"> 駐車場  トイレ  </div> |
| 備考 | |